

受付番号

17

承認番号

大歯医倫 第 110858 号

研究課題名

異常絞扼反射患者の歯科治療時におけるストレスに関する検討

研究責任者

中嶋 正博

申請者

大本 博樹

所属

障がい者歯科

所属

歯学研究科 障がい者歯科学専攻

職名

専任教授

職名

大学院 1 年生

#### 申請の概要

歯科治療は痛みやさまざまな刺激により強いストレスを生じ易く、過去の経験より、異常絞扼反射や歯科恐怖症が発現するといわれている。このような患者に対する歯科治療を行う際には行動調整が必要であり、取り分け静脈鎮静法や静脈麻酔あるいは全身麻酔下での薬物的行動調整により行われることが多い。また、種々の行動調整法を用いることにより徐々に通常の歯科治療が行うことができる場合もある。

近年、ストレスマーカーとして唾液ストレスホルモンが注目されている。そこで、異常絞扼反射患者の唾液アミラーゼ、コルチゾールなどの唾液ストレスホルモンの日内変動および歯科治療前後の変化を測定し、歯科治療の及ぼす影響について比較検討することにより客観的にストレス変化を評価する。そして、異常絞扼反射患者および歯科治療恐怖症患者に対して歯科治療を行う際の新たなアプローチの確立に貢献できると考える。